

◎礼拝説教：2020年3月29日
◎説教者：中村準一 牧師
◎タイトル：インマヌエルの神
◎今日の聖書：創世記39:1-23

1さてヨセフは連れられてエジプトに下ったが、パロの役人で侍衛長であったエジプトびとポテパルは、彼をそこに連れ下ったイシマエルびとらの手から買い取った。2主がヨセフと共におられたので、彼は幸運な者となり、その主人エジプトびとの家におった。3その主人は主が彼とともにおられることと、主が彼の手のすることをすべて栄えさせられるのを見た。4そこで、ヨセフは彼の前に恵みを得、そのそば近く仕えた。彼はヨセフに家をつかさどらせ、持ち物をみな彼の手にゆだねた。5彼がヨセフに家とすべての持ち物をつかさどらせた時から、主はヨセフのゆえにそのエジプトびとの家を恵まれたので、主の恵みは彼の家と畑とにあるすべての持ち物に及んだ。6そこで彼は持ち物をみなヨセフの手にゆだねて、自分が食べる物のほかは、何をも顧みなかった。さてヨセフは姿がよく、顔が美しかった。7これらの事の後、主人の妻はヨセフに目をつけて言った、「わたしと寝なさい」。8ヨセフは拒んで、主人の妻に言った、「御主人はわたしがいるので家の中の何をも顧みず、その持ち物をみなわたしの手にゆだねられました。9この家にはわたしよりも大いなる者はありません。また御主人はあなたを除いては、何をもわたしに禁じられませんでした。あなたが御主人の妻であるからです。どうしてわたしはこの大きな悪をおこなって、神に罪を犯すことができますよう」。10彼女は毎日ヨセフに言い寄ったけれども、ヨセフは聞きいれず、彼女と寝なかった。また共にいなかった。11ある日ヨセフが務をするために家にはいった時、家の者がひとりもそこにいなかったので、12彼女はヨセフの着物を捕えて、「わたしと寝なさい」と言った。ヨセフは着物を彼女の手に残して外にのがれ出た。13彼女はヨセフが着物を自分の手に残して外にのがれたのを見て、14その家の者どもを呼び、彼らに告げて言った、「主人がわたしたちの所に連れてきたヘブルびとは、わたしたちに戯れます。彼はわたしと寝ようとして、わたしの所にはいったので、わたしは大声で叫びました。15彼はわたしが声をあげて叫ぶのを聞くと、着物をわたしの所に残して外にのがれ出しました」。16彼女はその着物をかたわらに置いて、主人の帰って来るのを待った。17そして彼女は次のように主人に告げた、「あなたがわたしたちに連れてこられたヘブルのしもべはわたしに戯れようとして、わたしの所にはいつてきました。18わたしが声をあげて叫んだので、彼は着物をわたしの所に残して外にのがれました」。19主人はその妻が「あなたのしもべは、わたしにこんな事をした」と告げる言葉を聞いて、激しく怒った。20そしてヨセフの主人は彼を捕えて、王の囚人をつなぐ獄屋に投げ入れた。こうしてヨセフは獄屋の中におったが、21主はヨセフと共におられて彼にいつくしみを垂れ、獄屋番の恵みをうけさせられた。22獄屋番は獄屋におけるすべての囚人をヨセフの手にゆだねたので、彼はそこでするすべての事をおこなった。23獄屋番は彼の手にゆだねた事はいっさい顧みなかった。主がヨセフと共におられたからである。主は彼のなす事を栄えさせられた。

◎宣教

ヨセフはエジプトに連れて来られて、エジプトの高官、ポティファルに奴隷として売られた。ヨセフは、父と兄弟たちから離れて、一人で、エジプトで、奴隷として生きていかなければならなかったが、いつも、イスラエルの神を信じて、神の祝福をしっかりと握っていた。エジプト人のポティファルは、ヨセフが有能な働き者であることと、神の特別の祝福を受けている者であることを知って、安心して、家の中の管理をヨセフの手に委ねてしまい、自分の食べ物以外のことについては、何も心配しなかった。ヨセフの側には、いつも、神が存在していて、彼を守っていた。ある日、ポティファルの妻が、ヨセフに眼を付けて、「私と一緒に寝ておくれ。」と言い寄ったが、ヨセフはきっぱりと拒絶した。しかし、彼女は、恐ろしい悪魔の使でした。ある日、彼女は、夫の留守に、召使たちを外に出して、ヨセフと二人だけの時間を作り、ヨセフに言い寄り、彼の上着を掴んで放さなかった。ヨセフは彼女から逃れるために、自分の上着を残して逃げましたが、彼女はその上着を証拠として、ヨセフが彼女を犯そうとしたと、夫に訴えた。その結果、ヨセフは監獄に入れられた。しかし、イスラエルの神は、ヨセフを支えてくださり、彼を監獄の中から救い出し、エジプト王の次に位の高い大臣にまで高めて下さったのでした。現在は、インマヌエル（私たちと共にいる神）であるイエス・キリストが、私たちの側にいて、私たちを守っているのです。ハレルヤ